

## 総合防災訓練を開催しました

東京女子医科大学病院  
病院防災・減災対策支援室

令和元年8月30日（金）14時～17時に当院の総合防災訓練を開催いたしました。当日は東京湾北部を震源とする首都直下型地震（マグニチュード7.3、震度6強）が発生した事を想定して、病院内で様々な訓練を行いました。

各病棟、外来、関連部署では発災時に行うべきことが明文化された「アクションカード」を基に患者さん、職員の安否確認、建物・設備の破損状況を確認し、病院災害対策本部に報告しました。

病院災害対策本部では各部署から収集した情報を基に、病院としての方針を検討し、優先順位を決めて指揮を執りました。また、防災無線を使用して行政や近隣施設との連携も確認しました。

総合外来センターには医療救護所を設置し、傷病者のトリアージや搬送、治療を行い、一人でも多くの方に適切な医療を提供できる様に訓練を行いました。

いつか起きるであろう大災害に向け、病院全体の防災・減災対策を強化する為には、訓練を通して課題をひとつひとつ克服していく事が重要です。

今回も多くの課題が見つかりましたので、マニュアルやBCP（事業継続計画）の改訂を進め、災害拠点病院としてより強固な体制を構築してまいります。



病院災害対策本部訓練



医療救護所訓練